

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

浦舟地域ケアプラザ

■ 事業報告

1 全事業共通

地域の現状と課題について

【お三の宮地区】

連合町内会は7か町で構成されており、シンボリックな存在である日枝神社の例大祭などを通じて古くからの住民同士の強い繋がりがあります。一方で若い世代や高齢者専用住宅への高齢者の転入も多く、地区社会福祉協議会を中心に多世代に向けた様々な活動も行われていますが、新たな取組には消極的な面があるため、新旧住民の交流や、新たな担い手の育成などに課題があります。

地理的条件がよく、幹線道路沿いにマンションが数多く建っており、小さな子どもがいる世帯も多くありますが、一定の年数を過ぎ子どもが大きくなると転居していく傾向も見られます。

ケアプラザから遠い町もあるため、地域の身近な場所での事業開催（健康づくり、介護予防、認知症の理解・普及啓発）など、町内会や地区社協などの関係団体・機関と連携して進める必要もあります。

【寿東部地区】

連合町内会は10か町で構成されており、日枝神社の例大祭、大鷲神社の酉の市など、大きなお祭りを通じて地縁ある住民にとっての地域の強いつながりがあり、連合町内会主体の防災訓練、健民祭、ソフトボール大会、盆踊り大会など住民が交流する機会も多くありますが、新たに流入している若年家族層や、高齢者専用住宅への高齢者の転入者、外国に縁のある住民との交流に課題を抱えています。

また、地域特性として、単身で身寄りがなく、資産も支援者もいない高齢者が多く、支援に時間を要し、多岐にわたる調整が必要となっています。

また、南区全体の課題として、健康寿命の延伸に向けた取組が必要です。

(1) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

1 相談件数が増加し、調整も複雑化してきている状況に対応するため、ケアプラザ職員全体で相談対応を行いました。

2 区役所・サービス事業者・医療機関等と情報を共有し、連携して、的確な対応を行いました。

3 地域の方々に総合的な福祉相談窓口がケアプラザであることを認識していただけるよう、各種行事や事業へ参加した際など機会を捉えて、相談窓口の広報を行いました。

4 介護サービスの最新情報はもちろん、地域のインフォーマルサービス等の情報を収集し、支援を必要とする方に情報提供するとともに、必要に応じて関係機関につなげました。

(2) 各事業の連携

- 1 地域活動交流、福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）、生活支援コーディネーターの職員間で情報を共有し、共通課題を認識できるよう、毎月2回、5職種（地域活動交流コーディネーター、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー、生活支援コーディネーター）連携会議を開催するとともに、日々の業務においても連携を意識して取り組みました。
- 2 5職種が連携することで、介護予防の自主事業から参加者主体のOB会設立までを継続的に支え、地域のインフォーマルサービスの充実及び、地域の福祉保健活動の一層の活性化に向けて支援しました。
- 3 ケアプラザが地域における福祉保健活動の拠点として機能を発揮できるよう、各事業間で連携して取組を行いました。地域の活動や事業への参加、地域住民との話し合いの中で得た情報を記録に残し、職員間で共有しながら地域支援に生かしました。
- 4 5職種の連携により地域課題を共有し、地区社会福祉協議会の活動内容を把握するとともに、新規事業の立ち上げや既存事業の支援を行いました。
- 5 毎月実施する職員会議において、各事業部門の運営状況を確認し、連携、協力体制を強化しました。
- 6 ケアプラザ職員全体で地域の情報を共有し、総合事業における地域資源づくりを進めていきました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

1 職員体制

- (1) 事業ごとに必要な資格要件を満たした職員を、人員配置基準に従って適正に配置しました。
- (2) 安定した事業所運営のために、独自に事務職員を配置しています。
- (3) 通所介護事業部門では、介護職員はパート職員だけではなく、正規介護職員2名を配置し、お客様に、より快適に過ごしていただけるよう努めました。

2 職員育成

- (1) 日常的なケーススタディ等OJT体制を充実させました。
- (2) 新人教育はもちろん、採用年次による定期的な研修やフォローアップ研修で質を高め、介護福祉士や介護支援専門員、社会福祉士等の資格取得を正規職員・非常勤職員を問わず奨励・支援しました。さらに接遇にも力を入れ、お客様への質の高いサービス提供を行いました。
- (3) 職種・年齢層・入社年数・職制等様々な区分による研修を実施し、人材育成に努めました。
- (4) 法人外部の研修へも積極的参加し、各職種の専門性を高めました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- 1 地区社会福祉協議会、町内会、民生委員、老人クラブ、子育て支援団体などの定例会に定期的に参加し、情報共有を行うとともに、団体同士の連携の強化やネットワークの構築を図りました。
- 2 お三の宮・寿東部両地区の地域福祉保健計画地区別計画を通じて、地域の関係団体との連携を密にし、地域課題の解決に向けて協働しました。
- 3 地域ケア会議の開催を通じて地域の課題を把握し解決策の検討を行うとともに、地域・支援者のネットワークの強化を図りました。
- 4 エリア内のケアマネジャーやサービス事業所が参加する連絡会を開催し、事業者

同士の連携強化はもちろんのこと、民生委員にも出席していただくことで、事業者と地域の関係団体とのつながりも強くなるよう支援しました。

5 複合福祉施設内の各施設との連携強化・地域福祉の啓発を目的に、夏季に「うらふね納涼祭」を開催しました。

(5) 区行政との協働

1 南区の区政運営方針「区民の皆さまとの協働で「あったかい」南区をつくります」に対して、地域福祉の推進を担うケアプラザとして、町内会や民生委員をはじめ地域活動グループと連携をとり、その実現に向けて行動しました。

2 第3期南区地域福祉保健計画の3年目として、地域、関係団体、関係機関等と協力して実施中の事業を推進し、地域の課題の解決や目標の達成に向けて取り組みました。

3 福祉総合相談窓口職員、生活支援コーディネーターとともに、南区役所担当者を含む定例会を毎月開催し、地域の状況についての情報交換、情報の共有化など連携を図りました。

4 区役所が主催する地域支援チームに積極的に参加し、地区の課題を共有し、地域支援につなげました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

1 高齢者、障がい児・者、子育て支援など、それぞれの地域ニーズや特性に応じた企画を行い、幅広い階層の参加が得られるような自主事業を展開しました。なお、実施にあたっては地域グループなどに対して積極的に協力を呼びかけました。

2 地域ニーズを反映した、地域からの企画を事業化しました。

3 参加者の方々に、それぞれの事業の目的やケアプラザの役割等を明示、周知して、福祉保健の推進につながる事業を展開しました。

4 ボランティアや参加者とともに企画、運営できる事業を充実させ、参加するボランティアの拡充を図りました。

5 ケアプラザの自主事業から発展した自主サークルが、スムーズに活動できるよう支援しました。

6 自主事業を通して捉えた地域の課題は、町内会、地区社会福祉協議会をはじめとする地域の諸機関や学校等の関係機関、および地域包括支援センターと共有し解決に向けて協働しました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

1 施設の積極的紹介

(1) ケアプラザ広報紙の発行や、各連合町内会の総合防災訓練等の地域の行事に積極的に参加することにより、これまでケアプラザを利用したことがない地域の方々に施設紹介を行いました。

(2) 高齢者、障がい児・者、子育て世代はもちろん幅広く地域住民に施設を紹介し、各種事業を案内しました。

(3) 特に、利用率が低い土曜・日曜・祝日及び平日の夕方から夜間の時間帯について活用していただけるよう、幼児児童や一般成人、健康な高齢者を対象とした自主事

業を計画するなど工夫しました。

2 イベント開催

(1) 浦舟複合施設全体のまつり（うらふね納涼祭：8月開催）等、どなたでも気軽に参加できるイベントを積極的に行いました。

(2) 地域住民、区社会福祉協議会、近隣施設等との共催事業の実施により、地域の方々が幅広くふれあう機会を提供しました。

(3) 南区内の福祉関係等の公共施設を知っていただくために、「まるごとみなみスタンプラリー」を継続開催しました。

3 効率的な施設貸出の方法

(1) 当ケアプラザを拠点に活動するサークルやボランティア等のグループを育成・支援し、グループの自主活動に向け、施設を貸し出しました。

(2) 毎月の施設空き情報を館内の見やすい場所に掲示しました。

(3) 「ボランティアルーム」や「地域ケアルーム」など、小規模な部屋を利用した事業を開催し、利用率の向上を図りました。

(4) 地域の町内会、民生委員、婦人会、老人会などに対して、定例会等の場としての活用の提案を引き続き行いました。

(5) 施設の利用希望が重なった際などは調整を行い、少しでも多くの地域の方に利用いただけるよう工夫しました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

1 ボランティア育成についての考え方

ボランティア団体の協働やネットワーク化により活動内容の充実や活動しやすい環境を整備するなど、今後増加が見込まれる団塊世代の方々が活動しやすいような取組を行いました。

2 ボランティア育成の取組

(1) 育成体制

ア ボランティア活動に関しての相談、情報提供を地域活動交流担当が中心となり行いました。

イ 個人またはグループで活動のできるボランティアの登録を受け付け、ケアプラザ内や地域の保健福祉に関する活動の場を提供し、「よこはまシニアボランティアポイント事業」につなげました。また、地域での活動の場については、区社会福祉協議会とも連携しながら、コーディネートを行いました。

ウ ネットワーク形成の一環として、ボランティア交流会を開催しました。また、貸室登録団体のボランティア活動を支援するために、自主事業の中でのボランティア活動の場の提供を積極的に行いました。

エ 地域の在宅高齢者支援としてのボランティア活動の担い手の発掘、活動支援を近隣ケアプラザ、ボランティアセンターと連携しながら生活支援コーディネーターが中心となり行いました。

オ ボランティアセンターと協力して、定年後の方々のボランティア活動に焦点を当てた企画や活動の場を考え、「地域デビュー」を応援しました。

(2) 活動環境整備

ア ボランティア交流会を実施し、情報交換を通じた他の活動の理解を深めることで、ボランティア相互のつながりを強め、活動の刺激となるように努めました。

イ 貸室利用団体のボランティア活動を支援するために、様々な活動の場を提供しました。ケアプラザの自主事業でのお手伝いなど、他職種とも連携を図りながら、活動の奨励を行いました。

ウ よこはまシニアボランティアポイント事業へ参加し、ボランティア活動のモチベ

ーションがあがるよう働きかけを行い、活動開始のきっかけ作りを支援しました。ボランティア講座の中でもよこはまシニアボランティアポイント登録研修を実施しました。

(3) 広報活動

ア 広報紙やホームページ等での広報活動や、小中高生の職場体験等を積極的に受け入れ、児童の頃からボランティア活動に親しむよう働きかけました。

イ 自主事業終了後、ボランティアグループの自主化を呼びかけ、ボランティア活動の具体的な情報提供や体験を勧めました。

ウ 当ケアプラザのボランティア活動を、区社会福祉協議会、ケアマネジャー連絡会、町内会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会などをはじめ地域の方々に広く周知しました。

(4) 研修等の実施

ア 適正なボランティア活動を行っていただくため、「ボランティアの基礎や心構え」等についての講座を開催しました。

イ 多くの方にいろいろな立場でボランティア活動に参加していただけるよう、地域で様々な特技やノウハウを持っている方を、講師等として活動につなげるよう働きかけました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

1 情報収集

(1) 生活支援コーディネーター及び福祉総合相談窓口職員と十分に連携し、総合事業の充実に向けて取組を進めました。

(2) 当法人で作成した地域アセスメントシートを用い、5職種（地域活動交流コーディネーター、保健師職、社会福祉士、主任ケアマネジャー、生活支援コーディネーター）間、南区役所の担当者とも協働しながら、地域情報を共有しました。

(3) 各職種の担当者会議や研修会などに積極的に参加し、福祉保健に関する様々な情報や地域の社会資源などについて、常に最新の情報を収集するよう努めました。

(4) 地域における各関係機関の会合や各団体の催し、サロンに参加するなど地域の方の声を積極的に聞き、情報収集に努めました。

(5) 南区の地域支援チーム連絡会で検討した地域課題を、関係者間で共有し地域支援に生かしました。

2 情報提供

(1) 地域ケアプラザを利用されている貸館利用登録団体の活動状況や福祉保健における、さまざまな事業に関する情報を積極的に提供しました。また、通年の事業や特別プログラムは、その都度ポスターやチラシを作り、館内の見やすい場所に掲示しました。

(2) ホームページを随時更新し、若い世代の方や、多忙な方などにも活用していただけるよう工夫し、多くの方に自主事業等の情報を提供しました。

(3) 地域の方に向けた広報紙「うらふね丸」を3か月に1回、ミニ広報紙「ミニうらふね丸」を毎月発行し、事業や貸館利用登録団体等に関する情報提供を行いました。

(4) 地域住民への情報提供のために貸館利用登録団体の活動情報を館内に掲示し、随時更新を行うことで最新の状態に保ちました。

(5) お三の宮・寿東部両地区の社会福祉協議会が発行する広報誌への編集への参加により、地域の方々に広く地域福祉保健活動を周知しました。地域ケアプラザの機能や役割について事業開催時の案内や報告等を通して、情報提供に努めました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- 1 所長、生活支援コーディネーター、地域活動・交流コーディネーター、福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）の6職種で情報を共有し、地域の状況や課題について共通認識を持つ場を定期的で開催しました。
- 2 他ケアプラザの第2層コーディネーターとの情報の共有、第1層コーディネーターや区、区社会福祉協議会との連携を強化し、関係機関以外でも民間企業、NPO法人や地元企業主等、生活支援体制に理解を示す賛同者との関係を強化しました。
- 3 協議体は6職種で運営に関わり、多職種の視点をもって地域のニーズを的確に汲み取りながら、必要な資源づくりを行いました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- 1 法人で作成している地域アセスメントシートについて、情報の更新を随時行い、6職種間で共有に努めました。また、区や区社協から提供される地域情報や各種データについても活用しました。
- 2 地域で行われる各種イベントや自主活動、各関係機関の会合に参加し、地域住民との交流機会を通して各町内の活動の実態および地域資源の把握に継続して努めました。
- 3 各町内会単位で実施した、『生活支援・介護予防に関するアンケート』の結果について地域に情報提供し、自らの地域の実情を客観的に認識できる機会を作り、住民意識の向上につなげました。
- 4 住民が関心をもてるような情報を落とし込んだマップ作りを地域住民と共に行い、自分の地域の状況を客観的に把握、認識することで、住みやすいまちづくりに意欲と関心が高まる住民を増やしていきます。

(3) 連携・協議の場

- 1 お三の宮地区支え合いのまちづくり推進連絡会を継続開催し、『男性の活動・活躍の場』が地域に定着できるよう、自主的な運営意識が持てるメンバーによる活動となるような支援を行いました。
- 2 寿東部地区において、地域課題について認識を深め、課題解決にむけた行動に結びつき、各町内会単位といった小さな圏域における協議の場が設定できるように、地域に働きかけを行いました。
- 3 うらふね交流スペースの参加者同士の関係性を深め、自らの得意な分野を生かせる場として活用し、地域貢献への意欲の向上につながる働きかけを行いました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- 1 区生活支援C○連絡会の場等において区域の課題や地域情報を共有し、協力・連携体制を構築しました。
- 2 近隣ケアプラザとの共催事業や協議体の開催を通して、社会資源開発やネットワーク構築を目指しました。
- 3 地元住民の活動グループとの協同による共催事業『暮らしの懇談会』を継続開催し、生活者目線の生活ニーズの把握と参加者同士の関係性の構築を目標とし、地域活動に意欲・関心が持てる人材の育成と活動につながる場の創出を目指しました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

- 1 地域福祉保健計画地区別計画を通じて、地域の関係団体との連携を密にし、課題の解決に努めました。今後も地区社会福祉協議会や町内会等の活動に積極的に参加し、関係機関との協働体制を強化しました。
- 2 担当エリア内のケアマネジャーやサービス事業所、民生委員との連絡会を開催し、事業者同士、事業者と地域の支援者のつながりが一層強くなるよう支援しました。
- 3 地域ケア会議の開催により、関係者、関係団体・機関等と地域課題の把握、解決に向けての検討を行いネットワークの強化を進めました。
- 4 南区在宅医療連携拠点等と協力し、地域の医療と介護の連携強化に努めました。
- 5 地域の小規模多機能型居宅介護事業所やグループホーム等の運営に関する会議への出席等により地域の社会資源との連携強化を図りました。
- 6 各種事業、講座において各種行政機関等の協力を得ながら積極的に連携し、地域とのネットワークづくりに努めました。
- 7 生活支援、地域交流コーディネーターと情報共有を行いながら住民のニーズを把握し、地域のネットワークづくりを行いました。

②実態把握

- 1 地域における各関係機関の会合や催し、サロン、老人会、民生・児童委員定例会への参加や、日頃からの民生委員等とのコミュニケーションにより地域の実態把握に努めました。
- 2 地域アセスメントシートの活用や、5職種間での情報収集、総合相談の分析、地域ケア会議の開催等により地域の実態を把握し、支援に生かしました。

③総合相談支援

- 1 高齢者・障がい者等、幅広く地域の福祉保健に関する相談を受け付け、必要に応じて関係機関につなぎ、また連携しながら相談対応を行いました。
- 2 地域の高齢者からの総合相談に関しては、本人のみならず家族や地域の状況も踏まえ、福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）の職員が速やかに面接や訪問を行いながら対応しました。
- 3 行政機関や地域の関係者（民生委員など）、ケアマネジャー等とのネットワーク構築を図り、連携と情報共有を行い、地域や個別のニーズに沿った相談支援に努めました。
- 4 緊急的な支援を要する場合は、ケアプラザ全体の職員協力体制で迅速な対応を行いました。

（２）権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- 1 支援の必要な方に対しては、関係機関と連携をとりながら成年後見制度について説明し必要に応じて申し立ての支援をしました。
- 2 成年後見制度の普及啓発として市民や支援者向けの講座や個別相談会を開催し、必要に応じて関係機関につなげました。
- 3 区役所、区あんしんセンターと協働し、成年後見制度の周知活動を行いました。
- 4 消費者被害防止を目的として、個別訪問時に注意を呼びかけました。また、消費者被害防止の活動者と協働し、地域の集まりやケアプラザ事業を利用しながら注意喚起を行いました。

②高齢者虐待への対応

- 1 毎月1回開催の「うらふね介護者くらぶ」が介護者同士の情報交換の場となり、介護者の精神的負担の軽減や高齢者虐待の防止につながるよう努めました。
- 2 相談業務で対応したケースにおいて、高齢者虐待が疑われる場合は、早期に区役所・関係機関と連携し迅速なチーム支援を行いました。
- 3 虐待予防に関して、民生委員・サービス事業所等への啓発活動を行いました。
- 4 介護技術や介護の情報提供ができる講座を開催することで、高齢者虐待を未然に防止できるよう努めました。

③認知症

- 1 地域の認知症キャラバンメイトと協力し、地域住民、民生委員、小学生等を対象に認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の理解と地域で支える環境づくりを進めました。また、若い世代の住民への普及啓発も積極的に進めていくために、講演会や講座の開催曜日、時間帯について工夫しました。
- 2 認知症のある方を支える家族に対して「南区徘徊認知症高齢者あんしんネットワーク」や「介護者の集い」等の情報提供を行いました。
- 3 認知症予防にかかる事業として、ケアプラザ協力医による講演会を開催しました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 1 地域住民、関係機関との連携強化のため、民生委員の定例会や地区社会福祉協議会の振り返り会議、地域の行事等に積極的に参加し、互いに顔の見える関係作りを進めました。
- 2 担当エリア内のケアマネジャーやサービス事業所、民生委員に広く参加を呼びかけて連絡会・勉強会を開催し、事業者同士、また、事業者と地域の支援者のつながりが一層強くなるよう、支援しました。
- 3 地域ケア会議の開催により、「個別ケースから地域特性を読み解く」とテーマに開催、介護保険サービスでは、補えないことが多いことが課題にあがり、個別特性から地域特性まで共有化し、理想の仕組みを専門職で話し合い、課題解決の糸口になるように継続し、関係団体の連携強化に努めました。

②医療・介護の連携推進支援

- 1 南区在宅療養支援ネットワーク会の事務局会議や南区在宅医療相談室、事例検討会に参加し、積極的に医療従事者や介護関係者と関わりを持ち、顔の見える関係作りに努めました。
- 2 南区在宅医療連携拠点と協力し、地域の医療と介護の連携強化に努めました。

③ケアマネジャー支援

- 1 ケアマネジャー等からの相談を随時受けるとともに、困難事例については適宜同行訪問し、南区役所担当者との定例カンファレンス等で支援方法を検討しました。
- 2 新任ケアマネジャー向けの研修を行い、継続的に支援、サポートを行いました。
- 3 担当エリア内のケアマネジャーやサービス事業所、民生委員に広く参加を呼びかけて連絡会を開催し、事業者同士、また、事業者と地域の支援者のつながりが一層強くなるよう、支援しました。
- 4 南区の地域包括支援センターとの協働で事例検討会を行うなど、共にケアマネジメントの質の向上を目指しました。
- 5 地域の医療機関等の社会資源情報のリスト、インフォーマルサービス情報リストを随時更新し、ケアマネジャーに提供しました。
- 6 ケアプラザ協力医と地域のケアマネジャーが気軽に相談できる場を設け、情報提供や医療の相談にのっていただける機会を定期的に作り、ケアマネジャーの業務推進を図りました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- 1 地域ケア会議の開催により地域課題の共有を図るなど、地域の多職種連携を強化しました。
- 2 担当エリア内のケアマネジャーやサービス事業所、民生委員に広く参加を呼びかけて連絡会・勉強会を開催し、事業者同士、また、事業者と地域の支援者間の連携強化を図り、地域包括支援ネットワークの構築を進めました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

1. 住み慣れた地域で自立した日常生活を続けることが出来るよう、ご本人、ご家族の意思及び人格を尊重した介護予防プランを作成し、ご本人が設定した目標が達成できるように支援しました。
2. ご本人が出来ることが活かされるケアプランを提案しました。適切な保健、医療、介護サービスについてのマネジメントを行いました。
3. インフォーマルサービスの重要性を、ご本人や委託ケアマネジャーに理解してもらい、積極的にプランに位置付けるようにしました。
4. 区役所、区内の他地域包括支援センターと協働し、委託ケアマネジャー向けのケアプラン研修を実施しました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- 1 お元気で21健診を、お三の宮地区は包括版、寿東部地区は区役所版として、日枝東部町内会館、区役所で実施しました。
- 2 お三の宮地区及び寿東部地区において、ロコモ予防、口腔ケア、栄養講座（介護予防教室）を、ケアプラザから遠いエリアの住民も参加しやすいよう、日枝東部町内会館、エクセルシオール横浜阪東橋（有料老人ホーム）へ出張し実施しました。
- 3 昨年度希望者が非常に多かった閉じこもり予防としての尿失禁予防教室を、日枝東部町内会館、エクセルシオール横浜阪東橋で実施しました。
- 4 お三の宮地区での介護予防活動の場、元気サロンおさんのみやが定着できるよう支援をしました。
- 5 寿東部地区の真金町の脳トレウォーキングが定着するよう、支援しました。また、地区社協と協働し、介護予防体操を地域住民に向けて実施し、介護予防を楽しく実践する機会を作りました。
- 6 ハッピー脳トレ（元気づくりステーション事業）が継続できるよう、区役所と協働し支援しました。
- 7 地域の食事会や老人会等に参加し、ストレッチや筋力強化のための体操や口腔体操等を実際に体験し、介護予防について重要性の理解が進むよう努めました。また、介護予防活動を定期的に行っている場の情報提供を行いました。
- 8 介護予防ボランティアに向けて、モチベーションの維持、スキルアップ、交流目的のため、研修を実施しました。
- 9 ケアプラザで実施している脳の健康教室を、誰でも参加可能な介護予防の場となるよう、ボランティアと一緒にプログラムを検討しました。

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- 1 設備総合巡視、空調設備、消防設備、エレベーター・自動ドア、機械警備、冷暖房機器、ボイラー、自家用電気工作物、自動制御盤等の保守点検を定期的に行いました。また、複合福祉施設の共用部の修繕等については、複合福祉施設管理運営委員会で検討し、早急な対応を行いました。
- 2 施設の清掃につきましては、日常的に行って清潔を保持していくとともに、空調のフィルター清掃等も定期的に行い、空気環境の清浄度を維持、向上に努めました。また、車いすや杖歩行の方にも安全に利用していただくために、通路に物を置かない等、安全面に配慮しました。
- 3 建築物環境衛生管理、空気環境測定、簡易水質検査、害虫駆除等を定期的に行いました。また、館内入口や洗面所に手指消毒液を設置し、トイレにはペーパータオルを設置することで感染症予防にも注意を払い、手洗い、うがいの徹底を職員が励行し、来館者へもポスター等で呼びかけを行いました。さらに感染症発生時にも職員が迅速、的確に対処できるよう研修や訓練を行い、蔓延を防ぎました。
- 4 定期点検や日常管理で発見された不備は、適切・迅速に対応し、利用されるお客様が安心して、また安全にご利用いただけるよう保守管理を行いました。建物の老朽化に伴う改修については、区と協議を行い適切に対応しました。

(2) 効率的な運営への取組について

- 1 効率的な施設運営のために各事業部門に適正な人員を配置します。又運営経費が軽減されるよう組織的に取り組み、全スタッフへコスト意識を徹底しました。
- 2 当法人が受託している他のケアプラザとの合同による車両リースの一括入札や消耗品の共同購入などにより、経費節減を図りました。
- 3 ケアプラザの労務、経理等の事務処理に関しては、法人独自に事務の専任職員を配置しています。法人本部と業務や役割の分担を図りながら、事務の効率化に努めました。

(3) 苦情受付体制について

- 1 当法人で「苦情解決規則」を定めており、それに基づき当ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を定めています。ご利用の皆様からのご意見、ご要望、また苦情等に対して、可能な限りその場で解決を図る等、迅速に対応しました。
- 2 当法人で公正・中立な立場から斡旋、調整を行う第三者委員制度を設けており、適切な苦情解決に向けて取り組みました。
- 3 当ケアプラザでは「ご意見箱」を設置し、いつでもどなたからでもご意見などを受け付けできるようにしています。苦情、ご意見を真摯に受け止め、原因・事実関係を明らかにし、対策を講じて再発防止に努めました。
- 4 事業毎にお客様アンケートを実施し、改善、発展につなげました。
- 5 毎月、法人の事業部門毎のサービス向上委員会で苦情内容や原因を検討しました。検討結果をケアプラザに持ち帰り情報共有することで、苦情予防につなげました。
- 6 必要に応じて、区役所へ要望や苦情についての報告を行いました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- 1 防犯対策として、日中は職員が巡回を行い、夜間は職員が最終確認を行った後、機械警備を行います。なお、当複合福祉施設は1階の総合防災センターに24時間スタッフが常駐し緊急時に対応しました。
- 2 災害発生時に速やかに対応できるよう、防災対応マニュアル・消防計画等を策定しています。さらに独自に地震等の大規模災害発生時にサービスを必要とするお客様に可能な限り迅速的確に対応するため、法人内の全事業所で業務継続計画（BCP）を整備しました。定期的に職場訓練を実施し、適正な対応に備えました。
- 3 年2回の自主防災訓練を継続実施して、緊急時に職員がマニュアルに添った対応がとれるよう災害時の体制を整えました。複合福祉施設全体としても、年間各1回の全館合同の防災・防火訓練を継続実施して、各施設が協力して災害時の対応が出来るように体制を整えました。
- 4 特別避難場所として、応急備蓄物資の数量や保管状態の確認を行い、災害時に有効に機能するための体制を維持します。また、法人独自に行っている各事業所への物資の備蓄を継続しました。
- 5 法人として、平成18年1月に災害時相互援助協定を締結しており、災害ボランティアヘルパーとして、援助可能なボランティアを有しています。

(5) 事故防止への取組について

- 1 事故防止の取組
 - (1) 事故に至らなかった事例についても積極的にヒヤリ・ハットとして報告書を作成し、事業所内で注意を喚起しながら事故の未然の防止に努めました。
 - (2) 定期的な研修を実施し、リスクマネジメントの取組を強化しました。
 - (3) リスクマネジメントの視点での環境整備を行うとともに、介護保険サービス提供においては、朝のミーティングや申し送りノート等でお客様の心身状況の把握とスタッフ間の情報共有を図りました。
- 2 再発防止のための対策
 - (1) 再発防止に向けて、迅速に事故の状況分析や原因究明を行いました。
 - (2) 再発防止対策を検討し、改善等を実施した後、区役所、法人本部へ報告を行いました。
 - (3) 法人内で事業部門毎に行っているサービス向上委員会で事例を検証して、再発防止に努めました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- 1 個人情報保護規程の策定
当法人では「個人情報保護規程」を定めており、各事業所で個人情報の管理に関する責任者と担当者を定め、管理体制と責任を明確にしています。
- 2 研修
全職員に対し、年1回「個人情報の取り扱いについて」の研修を実施するほか、法人本部で実施する「個人情報保護・情報セキュリティ研修」を担当職員が受講し、事業所で他職員への伝達研修を実施しました。さらに、個人情報取り扱いチェックを実施し、自己を振り返り、緊張感を持って個人情報を取り扱うように周知、徹底しました。
- 3 個人情報の取り扱い

(1) 実際の個人情報の取り扱いとして、契約書、個人ファイル、電子媒体などは施錠できるロッカーなどで保管することとし、業務上持ち出しが必要な場合には専用バッグを用いて紛失や漏えいのないよう最小限の情報のみとし、持ち出し返却の確認簿により管理しました。

(2) 個人情報の漏洩防止のため、郵便物の発送やFAX送信などの際には、複数の者が必ずダブルチェックをした後、記録を行い、FAX送信の際は氏名等にマスキングをしました。

(3) 広報紙等において、個人が特定できる写真や記事等を掲載する場合には、必ず書面と口頭で了解を得たうえで掲載しました。

(4) 伝言メモ等に個人情報が含まれる場合は机上に貼付せずに、施錠できる保管庫を使用して伝達するなど具体的な保護対策を実行しました。

(5) 外出時には持出物品の持ち帰り確認を出張命令簿兼チェック簿で、複数の職員で行いました。

(7) 情報公開への取組について

1 情報公開の取組

ホームページの公開やパンフレット・チラシの配布を通し、地域の皆様に当法人・当ケアプラザを知って頂き、信頼を得られるように努めました。

2 情報公開規程の策定と実施

横浜市が制定する「情報公開条例」の趣旨に則り、当法人は「情報公開規程」を定めています。また、情報開示に関する申し出があった場合は、個人情報保護に最大限配慮しつつ、積極的に情報開示に努めました。

3 情報提供

法人の概要、サービス内容、財務状況（予算・決算等）、中期経営計画、事業計画、事業報告、ケアプラザの施設運営情報等については、法人のホームページにて、いつでも閲覧できるようにしました。

(8) 人権啓発への取組について

1 ケアプラザを利用いただく全てのお客様の人権を尊重して対応しました。

2 法人で主催する人権研修を職員が受講しました。未受講の職員に対しては、ケアプラザにて伝達研修を実施しました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

1 ヨコハマ3R夢【スリム】プランの推進

- (1) 省エネルギー対策、ゴミの減量化など良好な環境の維持のために、節電、節水をこまめに行い、コピー用紙の裏面使用などの資源の有効利用を励行しました。
- (2) 資源ゴミの徹底した分別収集に協力し、ペットボトルのエコキャップや空き缶のプルタブ回収を地域にも呼びかけ、収集したものはエコ活動につなげました。

2 省エネルギー対策

毎年、電力消費がピークとなる夏季には軽装（クールビズ）で、冬季には暖かい服装（ウォームビズ）での執務を心掛け、不要な照明の消灯、使用していない事務用機器の電源を落とすなど、省エネルギーに努めました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者：1名（兼務） 保健師：1名（兼務） 社会福祉士：1名
主任介護支援専門員：1名 介護予防プランナー3名

《目標に対する成果等》

- 1 お客様が住み慣れた地域で自立した日常生活を続けることができるように、お客様の意思及び人格を尊重し介護予防プランを作成し、設定された目標が達成できるように支援しました。
- 2 お客様やご家族の主体的な参加を促すとともに適切な保健、医療、介護サービスが提供されるよう、マネジメントしました。
- 3 地域のインフォーマルサービスを把握し、積極的に適正にプランに位置付けました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 1 地域包括支援センターから居宅介護支援事業所に委託する介護予防支援業務については、お客様に対して十分に説明し、お客様の選択を尊重した上で、都道府県の指定を受けた居宅介護支援事業所に依頼しました。
- 2 地域ニーズに適合した人員を確保し、介護予防ケアプラン作成者の専門性を高め、質の向上を図るために、定期（年1回以上）に研修を実施しました。
- 3 関係法令を遵守し、区役所や地域の保健・医療・介護サービス事業者、ボランティア団体等から総合的かつ効率的にサービス提供されるよう、公正中立な立場に立ちケアプランを作成しました。
- 4 医療機関が多い地域であるため、入院加療を終えたお客様の退院後の在宅生活支援を行う際には、医療従事者と密接な連携を行い、在宅生活を継続していただけるように早い段階から支援しました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
211	209	212	213	213	219
10月	11月	12月	1月	2月	3月
226	232	225	224	230	232

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者：1名（兼務） 介護支援専門員常勤：1名（兼務）
 介護支援専門員常勤：1名（専従） 介護支援専門員非常勤：1名（兼務）

《目標に対する成果等》

1 要介護状態になった方が住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう、一人ひとりの能力や状態、解決すべき課題（ニーズ）を的確に把握し、心身の状況や環境等に応じた適切なサービス提供に努めました。

- (1) 自立支援（身体的自立・精神的自立）
- (2) 認知症支援
- (3) 医療連携
- (4) 自己実現（QOLの向上）
- (5) 家族支援（レスパイトケア）

2 関係法令を遵守し、区役所や地域の保健・医療・介護サービス事業者、ボランティア団体等から総合的かつ効率的にサービス提供されるよう、公正中立な立場に立ちケアプランを作成しました。

3 要介護者へ質の高いケアマネジメントを実施するために、地域のさまざまな関係機関とネットワークを構築し、地域に根ざした信頼される事業所となるよう努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》
なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

1 ケアプラザ内の事業所という特色を生かし、福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）との連携も密にしながら、きめ細やかな対応をしました。

お客様の状態に応じて、ケアプラザで実施している事業等のインフォーマルサービスをケアプランに積極的に位置付けました。

2 定期的に、法人本部にてケアマネジャー担当者会議を開催し、情報交換や制度理解、ケアプラン作成研修、業務改善等に取り組みました。

3 「自立支援」「認知症支援」「医療連携」に強いケアマネジャーを育成するために、テーマ別の勉強会や研修を実施しました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
91	86	84	82	84	83
10月	11月	12月	1月	2月	3月
89	88	91	96	93	92

● 通所介護

《提供するサービス内容》

お客様お一人おひとりの通所介護計画書を作成し、目標達成に向けて適切なサービスを提供しました。

- ①送迎サービス ②健康チェック ③入浴サービス ④食事サービス ⑤個別機能訓練 ⑥口腔機能向上訓練 ⑦レクリエーション

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

1 1割負担分

(要介護1)	692円	(2割負担の場合)	1383円
(要介護2)	816円	(2割負担の場合)	1632円
(要介護3)	947円	(2割負担の場合)	1893円
(要介護4)	1076円	(2割負担の場合)	2151円
(要介護5)	1256円	(2割負担の場合)	2410円

2 個別機能訓練加算 60円 (2割負担の場合 120円)

3 入浴加算 54円 (2割負担の場合 108円)

4 口腔機能向上加算 161円 (2割負担の場合 322円)

5 サービス提供体制加算Ⅰ 1 20円 (2割負担の場合 39円)

6 中重度者ケア体制加算 49円 (2割負担の場合 97円)

7 食費負担 650円

8 介護職員処遇改善加算 ご利用総単位数の59/1000に相当する単位数の料金

《事業実施日数》 週6日

《提供時間》 9:30~16:30

《職員体制》 生活相談員4名 介護職員23名 看護職員4名 運転手6名

《目標に対する成果等》

「住み慣れた地域での在宅生活を長く継続できること」を目標に自立に向けた支援を行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

1 ご希望される全員のお客様に対し、標準的な体力測定プログラムを用意しました。（歩数計の活用、お客様ご自身によるご利用時の記録等）

2 iPadや通信カラオケの導入により、お客様自身がタッチパネルでアプリを操作しての脳トレや、カラオケの選曲、写真撮影など、自然な形でのIT機器の活用が進みました。

3 地域にある保育園の園児の訪問や、小学生、中学生、高校生の訪問、特別支援学校生徒によるボランティア活動やインターンシップの受入れもあり異世代交流を楽しむ機会となっています。また、地域のボランティアさんの訪問も多く、人と人とのふれあいの場としての交流も楽しんでいただきました。

4 少人数単位での戸外機能訓練を実施しています。日頃外出する機会の少ないお客様からは、次回の戸外機能訓練に向けての訓練意欲が高まるなど、大変好評を得ました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
663	674	698	662	722	656
10月	11月	12月	1月	2月	3月
707	669	597	579	581	624

● 認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

お客様お一人おひとりの通所介護計画書を作成し、目標達成に向けて適切なサービスを提供しました。

- ①送迎サービス ②健康チェック ③入浴サービス ④食事サービス ⑤個別機能訓練 ⑥口腔機能向上訓練 ⑦レクリエーション

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

1 1割負担分

(要介護1)	963円	(2割負担の場合)	1936円
(要介護2)	1067円	(2割負担の場合)	2133円
(要介護3)	1171円	(2割負担の場合)	2342円
(要介護4)	1276円	(2割負担の場合)	2551円
(要介護5)	1379円	(2割負担の場合)	2757円

2 個別機能訓練加算 30円 (2割負担の場合 59円)

3 入浴加算 55円 (2割負担の場合 109円)

4 口腔機能向上加算 164円 (2割負担の場合 327円)

5 サービス提供体制加算 I 1 20円 (2割負担の場合 39円)

6 食費負担 650円

8 介護職員処遇改善加算 ご利用総単位数の104/1000に相当する単位数の料金

《事業実施日数》 週6日

《提供時間》 9:30~16:30

《職員体制》 生活相談員4名 介護職員23名 看護職員4名 運転手6名

《目標に対する成果等》

「住み慣れた地域での在宅生活を長く継続できること」を目標に自立に向けた支援を行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

1 ご希望される全員のお客様に対し、標準的な体力測定プログラムを用意しました。（歩数計の活用、お客様ご自身によるご利用時の記録等）

2 iPadや通信カラオケの導入により、お客様自身がタッチパネルでアプリを操作しての脳トレや、カラオケの選曲、写真撮影など、自然な形でのIT機器の活用が進みました。

3 地域にある保育園の園児の訪問や、小学生、中学生、高校生の訪問、特別支援学校生徒によるボランティア活動やインターンシップの受入れもあり異世代交流を楽しむ機会となっています。また、地域のボランティアさんの訪問も多く、人と人とのふれあいの場としての交流も楽しんでいただきました。

4 少人数単位での戸外機能訓練を実施しています。日頃外出する機会の少ないお客様からは、次回の戸外機能訓練に向けての訓練意欲が高まるなど、大変好評を得ました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位:人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
153	157	144	161	159	158
10月	11月	12月	1月	2月	3月
168	152	138	136	133	139

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

お客様お一人おひとりの介護予防通所介護計画書を作成し、目標達成に向けて適切なサービスを提供しました。

①送迎サービス ②健康チェック ③入浴サービス ④食事サービス ⑤運動機能向上訓練 ⑥口腔機能向上訓練 ⑦レクリエーション

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

1 1割負担分

（要支援1） 1766円 （2割負担の場合 3531円）

サービス提供体制加算 78円 （2割負担の場合 155円）

（要支援2） 3621円 （2割負担の場合 7241円）

サービス提供体制加算 155円 （2割負担の場合 309円）

2 食費負担 650円

3 生活機能向上加算 108円 （2割負担の場合 215円）

4 運動器機能向上加算 242円 （2割負担の場合 483円）

5 口腔機能向上加算 161円 （2割負担の場合 322円）

6 介護職員処遇改善加算 ご利用総単位数の59/1000に相当する単位数の料金

《事業実施日数》 週6日

《提供時間》 9:30~16:30

《職員体制》 生活相談員4名 介護職員23名 看護職員4名 運転手6名

《目標に対する成果等》

「住み慣れた地域での在宅生活を長く継続できること」を目標に自立に向けた支援を行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

1. ご希望される全員のお客様に対し、標準的な体力測定プログラムを用意しました。（歩数計の活用、お客様ご自身によるご利用時の記録等）

2. iPadや通信カラオケの導入により、お客様自身がタッチパネルでアプリを操作しての脳トレや、カラオケの選曲、写真撮影など、自然な形でのIT機器の活用が進みました。

3. サービス利用時にも洗濯物やおしぼりをたたんでいただくなど、役割を持って過ごしていただけるよう、工夫しました。

4. 少人数単位での戸外機能訓練を実施しています。日頃外出する機会の少ないお客様からは、次回の戸外機能訓練に向けての訓練意欲が高まるなど、大変好評を得ました。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
15	12	13	13	13	13
10月	11月	12月	1月	2月	3月
12	13	13	13	14	14

平成30年度「浦舟地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,600,000	0	14,600,000	14,600,000	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0	0	0	0	0	
自主事業収入	0	0	0	159,147	△ 159,147	事業参加費等収入
雑入	0	0	0	699,469	△ 699,469	コピー代収入
印刷代	0	0	0	96,890	△ 96,890	自動販売機売上収入
自動販売機手数料	0	0	0	595,509	△ 595,509	
駐車場利用料収入	0	0	0	0	0	
その他（指定管理料充当分）	0	0	0	7,070	△ 7,070	公衆電話通話料収入
その他（施設使用料相当額 法人負担分）	3,990,000	0	3,990,000	3,990,000	0	施設使用料相当額法人負担分
その他（提案時控除 法人負担分）	1,090,561	0	1,090,561	1,090,561	0	提案時控除法人負担分
収入合計	19,680,561	0	19,680,561	20,539,177	△ 858,616	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,985,427	0	11,985,427	12,015,736	△ 30,309	
本俸	8,374,113	0	8,374,113	8,063,621	310,492	俸給
社会保険料	1,139,445	0	1,139,445	1,289,815	△ 150,370	社会保険料
手当計	2,218,650	0	2,218,650	2,400,998	△ 182,348	諸手当
健康診断費	39,138	0	39,138	33,858	5,280	健康診断費
勤労者福祉共済掛金	8,256	0	8,256	8,256	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	205,825	0	205,825	216,938	△ 11,113	退職共済掛金
その他	0	0	0	2,250	△ 2,250	インフルエンザ予防注射補助費
事務費	940,000	0	940,000	1,821,493	△ 881,493	
旅費	12,270	0	12,270	16,593	△ 4,323	出張旅費
消耗品費	25,509	0	25,509	31,883	△ 6,374	トレットペーパー・ゴミ袋等・紙コップ等
会議開費	0	0	0	0	0	なし
印刷製本費	169,904	0	169,904	132,383	37,521	コピーカウント料・インクカートリッジ代・年賀状印刷費
通信費	333,849	0	333,849	430,524	△ 96,675	固定電話・公衆電話・パソコン回線等
使用料及び賃借料	8,400	0	8,400	8,400	0	
横浜市への支払分	8,400	0	8,400	8,400	0	屋外自販機目的外使用料
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	0	0	0	306,694	△ 306,694	PCリース契約・シュレッダー・デジタル複合機
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	17,400	0	17,400	17,520	△ 120	保険料
職員等研修費	9,683	0	9,683	2,071	7,612	研修費・研修交通費
振込手数料	10,645	0	10,645	10,891	△ 246	振込手数料
リース料	330,863	0	330,863	62,661	268,202	SWING会計ソフトリース料・ADサーバーリース料 等
手数料	21,477	0	21,477	22,208	△ 731	EBサービス利用手数料・残高証明書発行手数料
地域協力費	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	779,665	△ 779,665	PCリース契約・保険衛生費・レンタル料 等
事業費	1,712,000	0	1,712,000	550,212	1,161,788	
運営協議会経費	42,000	0	42,000	27,090	14,910	運営協議会経費
指定管理料充当 事業	1,670,000	0	1,670,000	523,122	1,146,878	事業費
管理費	4,084,300	0	4,084,300	4,055,594	28,706	
建築物・建築設備点検	0	0	0	0	0	
光熱水費	1,383,399	0	1,383,399	2,122,158	△ 738,759	
電気料金	367,984	0	367,984	574,638	△ 206,654	
ガス料金	361,067	0	361,067	574,786	△ 213,719	光熱水費
水道料金	654,348	0	654,348	972,734	△ 318,386	
清掃費	64,502	0	64,502	64,502	0	一般廃棄物回収費
修繕費	474,000	0	474,000	113,349	360,651	修繕費
機械警備費	189,638	0	189,638	189,638	0	機械警備契約料
設備保全費	0	0	0	9,812	△ 9,812	
空調衛生設備保守	0	0	0	0	0	
消防設備保守	0	0	0	9,812	△ 9,812	ガス警報装置交換費
電気設備保守	0	0	0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0	0	0	0	0	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	0	0	0	0	0	
共益費	0	0	0	0	0	
その他	1,972,761	0	1,972,761	1,556,135	416,626	建物管理業務委託費
公租公課	958,834	0	958,834	961,258	△ 2,424	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	958,834	0	958,834	961,258	△ 2,424	消費税
印紙税	0	0	0	0	0	
その他（ ）	0	0	0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ス対応費	0	0	0	0	0	
支出合計	19,680,561	0	19,680,561	19,404,293	276,268	
差引	0	0	0	1,134,884	△ 1,134,884	

自主事業費収入	1,670,000	0	1,670,000	159,147	1,510,853	自主事業への参加料等
自主事業費支出	1,670,000	0	1,670,000	523,122	1,146,878	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 363,975	363,975	

管理許可・目的外使用許可収入	0	0	0	595,509	△ 595,509	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0	0	0	8,400	△ 8,400	使用料(横浜市への支払分等)
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	587,109	△ 587,109	

平成30年度「浦舟地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	23,380,000	143,680	23,523,680	23,523,680	0	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000	0	151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000	0	5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入	0	0	0	0	0	
指定管理料充当事業（包括）	0	0	0	0	0	
指定管理料充当事業（介護予防）	0	0	0	0	0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0	0	0	0	0	
自主事業収入	0	0	0	10,450	△ 10,450	自主事業収入
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他（指定管理充当）	0	0	0	0	0	
その他（提案時控除 法人負担分）	1,515,993	0	1,515,993	1,515,993	0	
収入合計	30,835,993	143,680	30,979,673	30,990,123	△ 10,450	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	27,476,293	0	27,476,293	27,372,854	103,439	
本俸	13,841,724	0	13,841,724	14,809,696	△ 967,972	俸給
社会保険料	4,276,896	0	4,276,896	3,781,862	495,034	社会保険料
手当計	8,700,183	0	8,700,183	8,063,615	636,568	諸手当
健康診断費	12,284	0	12,284	39,362	△ 27,078	健康診断費
勤労者福祉共済掛金	27,756	0	27,756	26,756	1,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	617,450	0	617,450	650,813	△ 33,363	退職共済掛金
その他	0	0	0	750	△ 750	インフルエンザ予防注射補助費
事務費	332,000	143,680	475,680	1,736,769	△ 1,261,089	
旅費	0	0	0	32,351	△ 32,351	出張旅費
消耗品費	0	0	0	31,883	△ 31,883	トレットペーパー・ゴミ袋等・紙コップ等
会議随費	0	0	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	132,383	△ 132,383	コピーカウント料・インクカートリッジ代・年賀状
通信費	0	0	0	258,184	△ 258,184	固定電話・パソコンバンク回線等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	0	0	0	258,576	△ 258,576	PCリース契約・シュレッダー・デジタル複合機
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	17,400	0	17,400	17,520	△ 120	保険料
職員等研修費	0	0	0	6,186	△ 6,186	研修費・研修交通費
振込手数料	0	0	0	10,891	△ 10,891	振込手数料
リース料	293,123	0	293,123	51,115	242,008	SWING会計ソフトリース料・ADサーバーリース料 等
手数料	21,477	0	21,477	22,208	△ 731	EBサービス利用手数料・残高証明書発行手
地域協力費	0	0	0	0	0	
その他	0	143,680	143,680	915,472	△ 771,792	PCリース契約・保険衛生費・レンタル料・ノートPC購入
事業費	1,942,000	0	1,942,000	474,544	1,467,456	
協力医	630,000	0	630,000	252,000	378,000	協力医謝金
指定管理料充当 事業（包括）	852,000	0	852,000	6,754	845,246	事業費
指定管理料充当 事業（介護予防）	151,000	0	151,000	153,053	△ 2,053	事業費
指定管理料充当 事業（生活支援）	309,000	0	309,000	62,737	246,263	事業費
管理費	1,085,700	0	1,085,700	1,078,059	7,641	
建築物・建築設備点検	0	0	0	0	0	
光熱水費	377,218	0	377,218	564,117	△ 186,899	光熱水費
電気料金	100,340	0	100,340	152,752	△ 52,412	
ガス料金	98,454	0	98,454	152,791	△ 54,337	
水道料金	178,424	0	178,424	258,574	△ 80,150	
清掃費	17,146	0	17,146	17,146	0	一般廃棄物回収費
修繕費	126,000	0	126,000	30,124	95,876	修繕費
機械警備費	50,408	0	50,408	50,408	0	機械警備契約料
設備保全費	0	0	0	2,608	△ 2,608	
空調衛生設備保守	0	0	0	0	0	
消防設備保守	0	0	0	2,608	△ 2,608	ガス警報装置交換費
電気設備保守	0	0	0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0	0	0	0	0	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	0	0	0	0	0	
共益費	0	0	0	0	0	
その他	514,928	0	514,928	413,656	101,272	建物管理業務委託費
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	0	0	0	0	0	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他（ ）	0	0	0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費	0	0	0	0	0	
支出合計	30,835,993	143,680	30,979,673	30,662,226	317,447	
差引	0	0	0	327,897	△ 327,897	

自主事業費収入	1,312,000	0	1,312,000	10,450	1,301,550	自主事業への参加料等
自主事業費支出	1,312,000	0	1,312,000	222,544	1,089,456	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 212,094	212,094	

管理許可・目的外使用許可収入	0	0	0	0	0	
管理許可・目的外使用許可支出	0	0	0	0	0	
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

★指定管理業務・委託業務として実施している介護保険事業のみ、対象です。

平成30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

平成30年4月1日～平成31年3月31日

施設名：浦舟地域ケアプラザ

(単位：千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護			認知症対応型通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	5,683	13,255	-7,572	12,892	12,697	195	87,357	90,515	-3,158	5,910	5,673	237	27,620	25,830	1,790
	その他	6,749	0	6,749	0	642	-642	1,160	723	437	0	0	0	128	1	127
	介護予防ケアマネジメント費	6,600	0	6,600	0		0	0		0	0	0	0	0		0
	事業・負担金収入	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0		0
	認定調査収入	0	0	0	0	232	-232	0		0	0	0	0	0		0
	原案作成委託料	149	0	149	0	410	-410	0		0	0	0	0	0		0
	食費収入	0	0	0	0	0	0	679	666	13	0	0	0	0		0
	その他	0	0	0	0	0	0	481	57	424	0	0	0	128	1	127
	収入合計(A)	12,432	13,255	-823	12,892	13,339	-447	88,517	91,238	-2,721	5,910	5,673	237	27,748	25,831	1,917
支出	人件費	3,118	2,686	432	15,561	17,485	-1,924	63,634	66,795	-3,161	0	0	0	17,382	17,766	-384
	事務費	5,605	9,887	-4,282	1,703	1,495	208	6,384	7,690	-1,306	0	0	0	2,526	2,521	5
	事業費	17	0	17	291	260	31	7,429	7,814	-385	0	0	0	2,068	2,008	60
	管理費	0	0	0	13	0	13	6,608	5,848	760	0	0	0	1,689	1,354	335
	その他	149	0	149	0	0	0	3,402	1,527	1,875	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0		0			0	0	0	0	0		0
	消費税	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0	0		0
	介護予防プラン委託料	149	0	149	0		0	0		0	0	0	0	0		0
	委託事業費へ補填	0	0	0	0		0	2,723		2,723	0	0	0	0		0
	職員食事代	0	0	0	0		0	679	666	13	0	0	0	0		0
その他(レイアウト変更費)	0	0	0	0		0		861	-861	0	0	0	0		0	
支出合計(B)	8,889	12,573	-3,684	17,568	19,240	-1,672	87,457	89,674	-2,217	0	0	0	23,665	23,649	16	
収支 (A)-(B)	3,543	882	2,861	-4,676	-5,901	1,225	1,060	1,564	-504	5,910	5,673	237	4,083	2,182	1,901	

平成30年度 自主事業報告書

浦舟地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティアのいろはを楽しく学びましょう	目的：地域におけるボランティア活動の充実 内容：定年退職後等で地域活動に参加するきっかけを探している住民を対象に、地域活動の場の紹介とボランティア活動参加提案を行う。また、併せて既にボランティア活動を行っている方のスキルアップとモチベーション向上を図った。	全5回： 平成31年2月1日 平成31年2月8日 平成31年2月15日 平成31年2月22日 平成31年3月1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あつまれ！ハニービー	目的：子育て支援、母親同士の交流、閉じこもり予防 内容：フリースペース開放（未就園児） 第1（金）親子ふれあい体操	毎月第1・3・5（金） 午前 全28回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あつまれ！ハニーベイビー	目的：子育て支援、母親同士の交流、閉じこもり予防 内容：フリースペース開放（月齢児） 第3（金）ママ達への癒しの時間	毎月第1・3・5（金） 午後 全28回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パソコンルーム開放日	目的：閉じこもり予防、高齢者のIT支援、男性ボランティアの活動の場の提供 内容：PCのフリースペース開放	毎月第1・3（火） 全20回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うらふねパソコン相談室	目的：閉じこもり予防、高齢者のIT支援、男性ボランティアの活動の場の提供 内容：PCボランティアによる高齢者向けのパソコン相談室	毎月第2・4(木) 全24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声ひろば	目的：閉じこもり予防、認知症予防、地域交流 内容：ギターボラによる懐メロ・唱歌の会	原則毎月 第3(火)(水) 全22回 (8月休み)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うらふね脳の健康教室 第21期	目的：認知症予防、地域交流、閉じこもり防止 内容：公文式教材を使用した認知症予防教室と介護予防体操	4月～8月 全22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちゅーりっぷファミリーコンサート	目的：家族で楽しめる時間と場所を作り、子育て支援だけではなく、家族支援につなげていく。 内容：家族で楽しめるコンサートとして、体験ワーク等を行う。	9月29日(土)

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
えんがわ倶楽部	目的：囲碁・将棋・オセロを趣味とする地域住民相互の交流機会を作る。高齢者や学生との異世代交流。 内容：囲碁・将棋・オセロを準備した部屋を出入り自由に開放。	毎月第2・4(土) 全24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふらっとうらふね	目的：閉じこもり予防、認知症予防、地域交流 内容：各種イベント（体操、コンサート、脳トレ、講演会等）とおしゃべり。	毎月25日 全11回 (8月休み)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で遊ぼう！	目的：子育て支援、子育て中の家族同士の交流、子育て世代（特に父親）への浦舟地域ケアプラザの周知 内容：親子・家族で参加できるイベント（コンサート、工作等）	5・7・11・1月 土曜 全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うらふね納涼祭	目的：浦舟複合福祉施設の周知、地域交流 内容：模擬店、フリーマーケット、ステージ発表、各種イベント他	8月19日(日) 全1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
打楽器コンサート こころに響く打楽器つくっちゃお♪	目的：住み慣れた地域内で生の音楽やアートに触れる。ケアプラザに来たことがない方に来ていただき、知ってもらう。 内容：小学生対象と子育て中の親対象にし、打楽器を作って音楽を奏でる。	年2回 7月31日（火） 1月31日（木）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
知って安心お金の講座	目的：若い世代に対して、ケアプラザを知ってもらい、貸館利用の案内や地域活動の周知を図る。 内容：生活資金の不安事項について健康保険制度や年金受給額等について学ぶ。	年3回 9月30日 10月28日 11月18日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
初心者向けスマホ講座	目的：地域高齢者向けのIT支援を行い、生活の幅を広げることができる。 内容：基本の「き」を学び、スマートフォンの操作を覚える。	10月30日（火）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うらふね年末大掃除大会	目的：貸室登録団体同士の交流、福祉保健活動の場の提供。 内容：ケアプラザの大掃除を通して、各団体の交流を図る。	12月 全1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	目的：ボランティアの交流、ボランティアの活動発表 内容：ケアプラザや地域で活動しているボランティアの顔合わせ、交流、様々なボランティア活動を知る。	3月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
南区ボランティアフェスタ	目的：地域で活躍するボランティア団体が体験や展示で活動を紹介し、幅広い世代にボランティア活動を周知し、興味をもってもらえる機会とする。 内容：ボランティア活動紹介と発表及び参加者同士の相互交流	2月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
浦舟おとなの部 活動たのしみ部 「ケアプラザで いも煮会」	目的：多世代が共同作業をしながら交流を図る。地域の閉じこもりがちな高齢者の外出のきっかけを作る。 内容：郷土料理を多世代で一緒に作る。	1月27日（日）

平成30年度 自主事業収支報告書

浦舟地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者 ②募集人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ボランティアのいろはを 楽しく学びましょう	①地域住民	5568	地活	5568	0	0	5568	0	0
	②37名		包括						
	③無料		介護						
あつまれ！ ハニービー	①1歳以上未就園親子	26689	地活	26689	0	0	5568	3481	17640
	②464名		包括						
	③無料		介護						
あつまれ！ ハニーベイビー	①1歳未満親子	24249	地活	24249	0	0	5568	3001	15680
	②390		包括						
	③無料		介護						
パソコンルーム 開放日	①高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	
	②54名		包括						
	③無料		介護						
うらふねパソコン 相談室	①高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	
	②118名		包括						
	③無料		介護						
歌声ひろば	①高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	
	②692名		包括						
	③無料		介護						
うらふね脳の健康教室 第21期	①高齢者	90859	地活	24859	66000	0	0	75689	15170
	②127名		包括						
	③月2000円		介護						
ちゅーりっぷファミリーコ ンサート	①親子	10000	地活	10000	0	0	5422	4578	0
	②281名		包括						
	③無料		介護						
えんがわ倶楽部	①地域住民	13440	地活	13440	0	0	0		13440
	②185名		包括						
	③無料		介護						
ふらっとうらふね	①高齢者	38674	地活	38674	0	0	33954	1080	3640
	②265名		包括						
	③無料		介護						
親子で遊ぼう！	①未就園親子	10002	地活	9402	600	0	5568	3314	1120
	②50名		包括						
	③無料(一部負担あり)		介護						
うらふね納涼祭	①地域住民	150682	地活	77435	0	73247	0	150682	0
	②800名		包括						
	③無料(模擬店収入別)		介護						
打楽器コンサート ここに響く打楽器つく ちやお♪	①小学生	24050	地活	20750	3300	0	16705	7345	0
	②33名		包括						
	③100円		介護						
知って安心お金の講座	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	
	②21名		包括						
	③無料		介護						
初心者向けスマホ講座	①高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	
	②13名		包括						
	③無料		介護						
うらふね年末大掃除大会	①貸館登録団体	7970	地活	7970	0	0	0	6570	1400
	②56名		包括						
	③無料		介護						
ボランティア交流会	①活動ボランティア	75164	地活	75164	0	0	0	66376	8788
	②41名		包括						
	③無料		介護						
南区ボランティアフェスタ	①地域住民	25004	地活	13804	0	11200	0	25004	0
	②600名		包括						
	③無料(模擬店収入別)		介護						
浦舟おとなの部活動た のしみ部「ケアプラザで いも煮会」	①高齢者	10691	地活	5891	4800	0	0	10131	560
	②12名		包括						
	③400円		介護						
びかびかおとな塾	①地域住民	20160	地活	10080	0	0	0	0	10080
	②471名		包括	10080	0	0	0	0	10080
	③無料		介護						

平成30年度 自主事業収支報告書

浦舟地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
うらふね介護者くらぶ	①介護者等	6194	地活						
	②10名		包括	6194	0	0	0	0	6194
	③無料		介護						
			生活						
聞こえと脳の関係・補聴器の話	①地域住民	0	地活						
	②30名		包括	0	0	0	0	0	0
	③無料		介護						
			生活						
「介護のコツ！排せ介助」	①介護者等	560	地活						
	②12名		包括	560	0	0	0	0	560
	③無料		介護						
			生活						
日枝小学校5年生高齢者疑似体験講座 (地域交流・生活支援共催)	①日枝小学校5年生	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②120名		包括	0	0	0	0	0	0
	③無料		介護						
			生活	0	0	0	0	0	0
南吉田小学校認知症サポーター小学生養成講座 (地域交流・生活支援共催)	①南吉田小学校4年生等	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②123名		包括	0	0	0	0	0	0
	③無料		介護						
			生活	0	0	0	0	0	0
日枝小学校認知症サポーター小学生養成講座	①日枝小学校5年生等	0	地活	0	0	0	0	0	0
	②116名		包括	0	0	0	0	0	0
	③無料		介護						
			生活	0	0	0	0	0	0
権利擁護講座「最期の時まで自分らしく」(南区社会福祉協議会共催)	①地域住民	0	地活						
	②24名		包括	0	0	0	0	0	0
	③無料		介護						
			生活	0	0	0	0	0	0
びかびかおとな塾	①地域住民	20160	地活	10080	0	0	0	0	10080
	②471名		包括	10080	0	0	0	0	10080
	③無料		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

浦舟地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
うらふね交流スペース	①地域住民	26160	地活						
	②189名		包括						
	③無料		介護						
			生活	26160	0	0	0	0	26160
ゴールデン手と手	①地域の高齢者	17292	地活						
	②20名		包括						
	③内容による		介護						
			生活	13942	3350	0	0	11692	5600
区民のための終活講座	①地域住民	0	地活						
	②21名		包括						
	③無料		介護						
			生活	0	0	0	0	0	0
お三の宮地区支え合い のまちづくり推進連絡会	①地域住民	19285	地活						
	②71名		包括						
	③無料(飲食収入別)		介護						
			生活	12185	7100	0	0	19285	0

事業ごとに別紙に記載してください。